



校長通信

令和3年度18号

令和3年12月13日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《市駅伝大会で男女アベック入賞！》

12月11日（土）、紀三井寺公園陸上競技場及び周辺コースにおいて、令和3年度第74回和歌山市中学校駅伝競走大会が開催されました。男子は6区間、全距離18.9km、女子は5区間、計13.6kmで、たすきをつないで走りました。



昨年度、河北中学校男子は、花の1区に絶対的なエースがいて、区間賞をとる力走を見せ、後続のランナーも、その勢いをつないで、準優勝を獲得しました。今年度は、そのようなエースはいませんが、日々の部活動で鍛え、朝からの駅伝練習で力をつけてきた精鋭が河北中学校の代表となり、力走を見せてくれました。結果は、男子が7位入賞、女子が8位入賞と大健闘でした（8位までが入賞チームとして、賞状授与）。

一本のたすきをチーム一丸となって、それぞれの走者の思いをつないで走る駅伝は、通常のマラソンにない、団体戦の魅力があります。河北中学校男女駅伝チームは、素晴らしいチームワークで力走し、応援している私達に、勇気と感動を与えてくれました。選手のみなさんお疲れ様でした。

《駅伝大会、応援を終えて！》

ここで、また私の個人的な話で恐縮ですが、紀三井寺公園での駅伝の応援を終えた後、午後の時間を利用し、紀三井寺公園の駐車場に車を置いて、徒歩で三葛に行き、登山口から名草山に登って来ました。快晴に恵まれ、頂上から、マリーナシティ、船尾山、和泉山脈、和歌山城がよく見えました。更に、紀伊水道の向こうには、淡路島や四国も望め、とても素晴らしい景色を堪能することができました。

山登りは、有酸素運動しながら、足の筋力トレーニングができるとともに、頂上からの素晴らしい眺めは、日々の疲れた心を癒してくれます。また、地形や建物を確認することで、地理の勉強にもなります。人気の少ない山に登るのは、密を避けた、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた、絶好のレジャーと言えるのではないでしょうか。

時間がある時、是非、ご家族で名草山登山にチャレンジしてみてください。

